

研究・調査報告書

| 分類番号 | | 報告書番号 | 担当 |
|--|-------|--------|--------------------------|
| A-139 | A-110 | 24-027 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之 |
| 題名 (原題/訳) | | | |
| The risk relationships between alcohol consumption, alcohol use disorder and alcohol use disorder mortality: A systematic review and meta-analysis 飲酒、飲酒障害および飲酒障害による死亡率のリスク関係：系統的レビューとメタアナリシス | | | |
| 執筆者 | | | |
| Carr T, Kilian C, Llamosas-Falcón L, Zhu Y, Lasserre AM, Puka K, Probst C. | | | |
| 掲載誌 | | | |
| Addiction. 2024 Jul;119(7):1174-1187. doi: 10.1111/add.16456. | | | |
| キーワード | | | PMID |
| 飲酒、飲酒障害、用量反応、メタアナリシス、死亡率 | | | 38450868 |
| 要 旨 | | | |
| 目的： 飲酒の増加は飲酒障害（AUD）の発症リスクと関連しており、かなりの負担を伴うものである。本研究は飲酒と AUD の発症率および死亡率とのリスク関連の推定を目的とした。 | | | |
| 方法： 2000 年 1 月 1 日から 2022 年 7 月 8 日までに発表された症例対照研究およびコホート研究を対象に、Medline、Embase、PsycINFO、および Web of Science を用いて系統的文献検索を行った。飲酒、AUD 発症率および AUD 死亡率に関するデータを報告した研究について、用量反応およびランダム効果メタアナリシスを用いて、飲酒と AUD 発症および死亡率とのリスク関係を評価した。 | | | |
| 結果： 5904 件の報告のうち、量的および定性的合成の基準を満たしたのは 10 件（高所得国 7 件及びブラジル 3 件）の研究であった。飲酒が増加するほど、AUD の発症および死亡リスクが指数関数的に増加した。1 日あたり 4 標準飲料（純アルコール 10g/標準飲料）を飲酒すると AUD 発症リスクは 7 倍（相対リスク (PR)=7.14, 95%信頼区間 (CI)=5.13-9.93）、死亡リスクは 4 倍（PR=3.94, CI=3.53-4.40）に増加した。AUD 患者の死亡率は 1000 人年あたり 3.13（95%CI = 1.07-9.13）であった。 | | | |
| 結論： 飲酒と AUD 発症率および死亡率の間には指数関数的な正のリスク関係があることが示された。平均飲酒が 20g/日（約 1 杯の大ビール）でも、AUD 発症リスクは非飲酒者の約 3 倍、死亡リスクは約 2 倍に達した。これらの結果は、飲酒レベルに応じたリスクを理解し、適切な介入を行うための重要となる基礎情報を提供するものである。 | | | |